

WE WILL

第14期 中間期のご報告
2018年4月1日 → 2018年9月30日

vol. **03** 証券コード4188

 株式会社三菱ケミカルホールディングス

株主の皆様へ



人、社会、そして地球の持続的発展に向けてグループの総合力を発揮し さらなる変革と成長の獲得をめざします。

2019年3月期上半期の概要について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

当上半期(2018年4月1日～9月30日)における当社グループの事業環境は、ヘルスケア分野における2018年4月に実施された薬価改定の影響や、機能商品分野における一部製品の需要の減速や原料高の影響はあったものの、素材分野においてはMMAや炭素製品等の市況が好調に推移しました。当上半期の連結業績につきましては下段に記載の「連結業績の概要」をご覧ください。また、当期の中間配当金につきましては、1株につき20円とさせていただきます。

人、社会、そして地球の持続的発展に向けて

近年、社会課題に対して企業が具体的な解決策をもって貢献することが強く求められるようになり、財務的価値にとどまらず、広範な視点から企業価値が評価されるようになってきました。また、SDGs(持続可能な開発目標)が国連で採択され、

自社事業との関連付けや、社会的要請の把握に取り組む企業も増えてきています。

これらは、まさに当社グループのビジョンである「KAITEKI実現」、すなわち、企業活動を通じて「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」をめざし実現することに相通じるものです。私たち三菱ケミカルホールディングスは、国内外のグループのイノベーション力を結集し、社会課題の解決のためのソリューションを提供し続けることにより、企業価値のさらなる向上をめざしてまいります。

気候変動や水不足、資源・エネルギー問題など世界にあふれるさまざまな課題に対して、当社グループの事業がどのようにお役に立っているのか。その一部を裏面の特集ページでご紹介します。「こんなかたちで“人、社会、そして地球を守る”三菱ケミカルホールディングスグループ」。是非、ご覧ください。

代表執行役社長
越智 仁

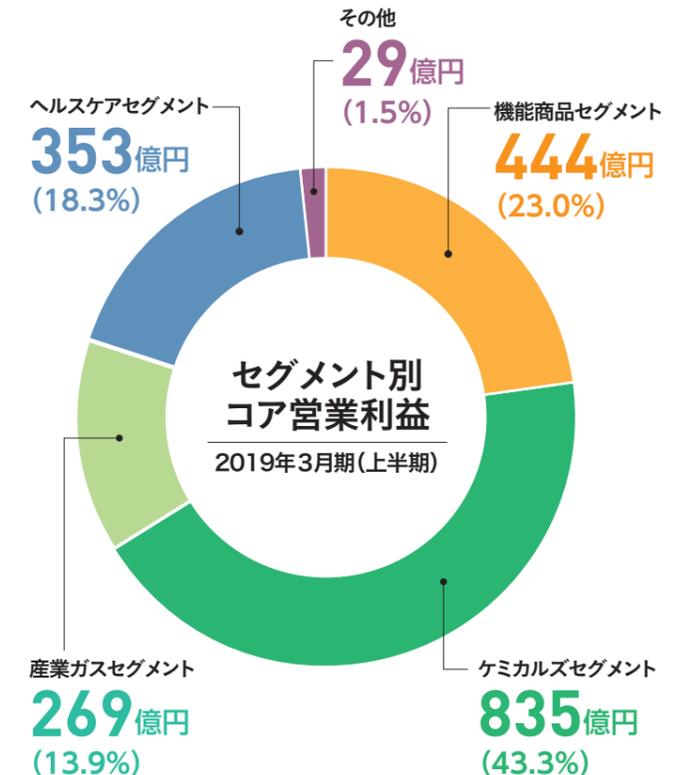
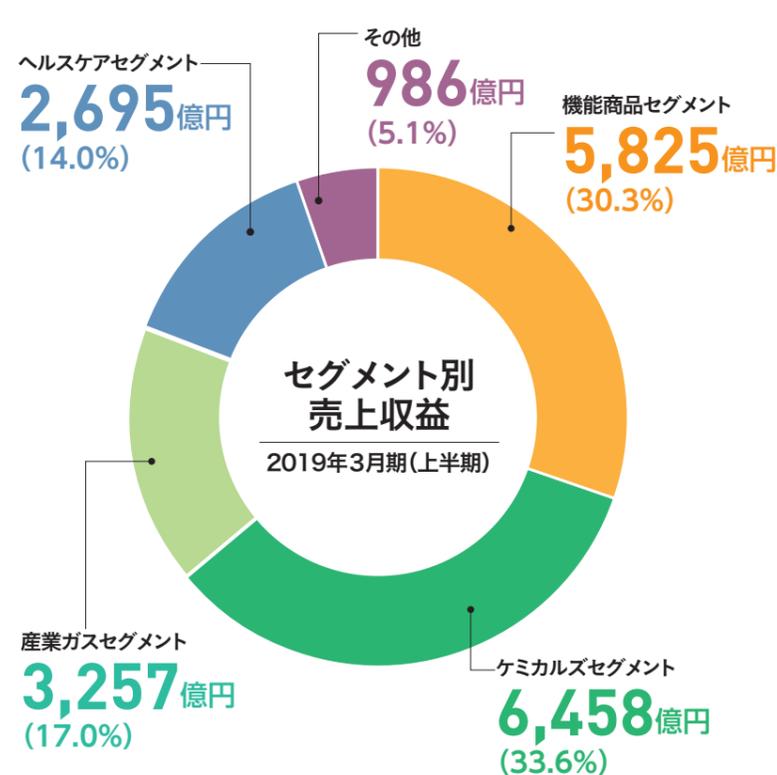
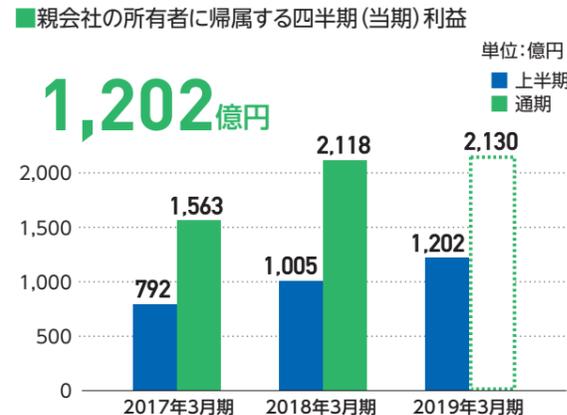
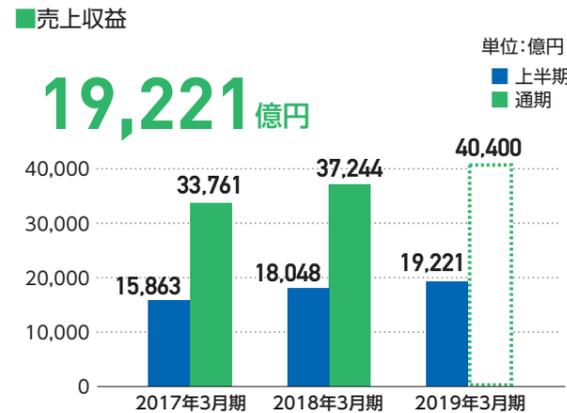
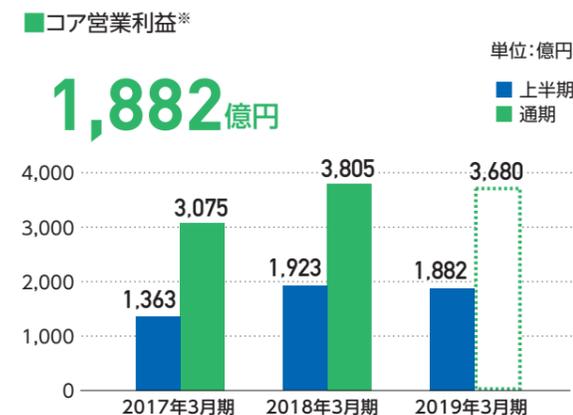


T O P M E S S A G E

連結業績の概要

上半期の四半期利益は、二期連続で過去最高益を更新しました。

- ・素材分野において、MMAや炭素製品等の市況が好調に推移
- ・非経常項目において費用が減少



*コア営業利益とは、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いた経常的な利益のことです。

こんなかたちで 人、社会、そして地球を守る 三菱ケミカルホールディングスグループ

当社グループは、人、社会、そして地球の課題解決を通じて世界の持続的発展に貢献し、自らも持続的に成長する真にグローバルな「THE KAITEKI COMPANY」をめざしています。今回は、地球規模の問題に対するご心配にお答えする形で、課題解決に向けた当社グループの取組みの一部をご紹介します。

気温の上昇や大型台風の増加など、地球温暖化の影響が心配です...

地球温暖化

自動車の排気ガスに含まれる二酸化炭素は、地球温暖化の原因になっています。

二酸化炭素を排出しない燃料電池自動車が次世代の自動車として注目されています。水素を燃料とするため、その普及には燃料の供給元となる水素ステーションの整備が不可欠です。当社グループでは、移動可能なパッケージ型水素ステーション「ハイドロ シャトル」を開発しました。ハイドロ シャトルを通じて燃料電池自動車の普及に貢献し、地球温暖化防止をめざします。



関連するSDGs



プラスチックは軽くて丈夫で便利だけど、使った後は捨てるしかないの？

プラスチックごみ問題

使用済プラスチックは、適切に回収・リサイクルされない場合、その処理が問題になります。

生分解性プラスチック「BioPBS™」は、土中での微生物によって分解されるため、自然環境への負担が少ないという特長があります。また、その原料は再生可能資源である植物由来のため資源の効率的利用にもつながります。今後は農業用フィルムだけではなく食品関連などへも用途を広め、プラスチックごみ問題に取り組んでいきます。

*本紙下部の「KAITEKI びっくあっぷ」も併せてご覧ください。

関連するSDGs



インフルエンザなどの感染症にかからないか、とても心配しています...

感染症の流行

世界では感染症が常に発生・流行し、死亡原因の大きな割合を占めています。

ワクチンの接種を受けると感染症に対する免疫が作られ、その発症や重症化を予防することができます。また、多くの人がワクチンの接種を受けることで、集団の中に感染者が出ても流行を阻止することができます。各種ワクチンの安定供給と新たなワクチンの開発を通じて、人々の健康な生活の実現をめざします。



関連するSDGs



安全・安心な水が不足しているようですが...

水資源問題

世界の多くの人々が、安全・安心な水を必要としています。

地下水膜ろ過システムは、高度な膜ろ過処理により地下水などを安全・安心な飲料水に変える分散型の給水システムです。また、水の供給源を公共水道と二元化することによって、災害時の給水ライフラインの確実性が高まります。地下水膜ろ過システムを通じて、人々の暮らしに欠かせない安全・安心な水をお届けします。



関連するSDGs

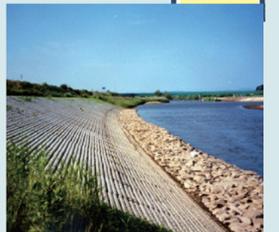


自宅のそばに大きな川があります。河川が増水して堤防が決壊したらどうしよう...

河川増水・氾濫

局部的豪雨や長雨による河川増水・氾濫は大きな災害につながります。

河川の堤防などを侵食から守る「ゴビマット™」は、多数のコンクリート製ブロックと樹脂製シートを一体成形した製品です。設置方法が簡単のため、短期間で強固な護岸を構築でき、また災害時の応急措置にも有効です。河川堤防はもちろん、ダムや調整池での災害対策にも効果を発揮します。



関連するSDGs



原油や天然ガスがなくなるって本当ですか？

エネルギー資源の枯渇

原油などの化石燃料は限りあるエネルギー資源のため、それらに代わるエネルギーが求められています。

太陽光、風力、水力などは、資源が枯渇しないエネルギーであり再生可能エネルギーともいわれます。風のエネルギーを利用する風力発電の風車の翼には、軽量で高い剛性をもつ炭素繊維が使用されています。炭素繊維の供給を通じて再生可能エネルギーの利用拡大に貢献していきます。



関連するSDGs



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連総会で採択された「私たちの世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」で謳われている2016年から2030年までの国際的な行動指針です。本紙では、WE WILL vol.01の「KAITEKI びっくあっぷ」に続き、「KAITEKI」と親和性の高いSDGsへの具体的な取組みをご紹介します。

KAITEKI びっくあっぷ

当社が、人、社会、そして地球の持続的発展への貢献をめざして提唱している「KAITEKI」。 「KAITEKI びっくあっぷ」と名付けたこのコーナーでは、KAITEKIのもとで推進しているさまざまな活動をご紹介します。

● 海洋プラスチック問題とKAITEKI

海洋プラスチック問題は、飲食業界におけるワンウェイ(使い切り)プラスチック製品の使用削減の取組み、簡易包装の拡大、レジ袋の有料化など私たちの身近な生活にもその影響が見られはじめています。プラスチック製品の軽量、耐久性などの機能は私たちに豊かな暮らしをもたらしてきましたが、使用後の廃棄が適切に管理されていない場合には、海洋に流出、投棄され、沿岸諸国の生活環境や生態系に負の影響

を及ぼしてしまうおそれがあります。また、現状のままでは2050年には海中の魚類を上回る量のプラスチックが海洋に存在する可能性があることも予測されています。

当社グループは、プラスチック製品並びにその原料となる化学物質を製造・販売する企業として、2018年9月に発足した海洋プラスチック問題対応協議会(JaIME)に発起人として参画しています。本協議会を通じて他の化学系企業、プラスチックを利用する他の産業団体と連携・

協奏し、この問題に取り組んでいきます。当社グループのリサイクル・リユース容易な素材や、生分解性を有するプラスチック素材をはじめとするKAITEKI実現に向けたさまざまなソリューションの提供により、海洋プラスチック問題の解決にとどまらず、持続可能な循環型社会の構築にも貢献していきたいと考えています。「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」をめざし、これからもさまざまな環境や社会の持続可能性を脅かす課題への取組みを進めてまいります。

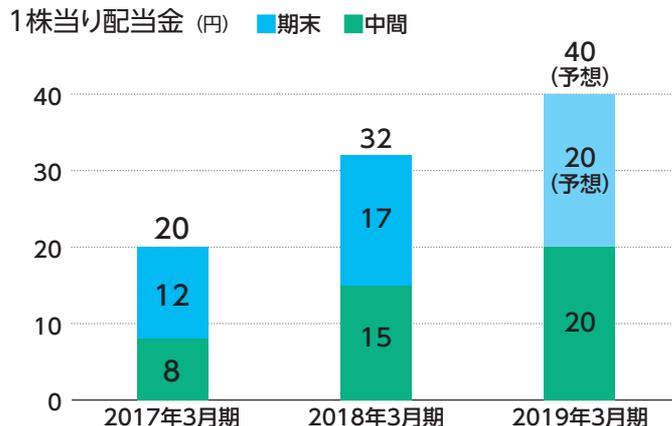
株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
※その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
- 公告の方法 電子公告
※ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
◎公告掲載URL (http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/index.html)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先及びお問い合わせ先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000,000株
発行済株式総数 1,506,288,107株
株主数 179,010名

配当の状況



単元未満株式 (1株~99株) をお持ちの株主様へ

単元未満株式 (1株~99株) とは

当社の売買単位である1単元 (100株) に満たない株式のことをいいます。単元未満株式 (1株~99株) については、証券市場で売買することはできません。

単元株式

株主総会で議決権を行使できます。証券市場で売買できます。

単元未満株式

株主総会で議決権を行使できません。証券市場で売買できません。

単元未満株式をお持ちの株主様は、市場価格で、単元株式 (100株) にするために必要な株数を当社からご購入 (買増制度) または単元未満株式を当社に対しご売却 (買取制度) いただくことができます。

(例) 40株をご所有の場合

買増制度	買取制度
60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。	当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。

買増制度・買取制度のご利用方法

証券会社の口座でお持ちの株式については、お取引先の証券会社でお手続きください。また、特別口座でお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

特別口座の口座管理機関及び連絡先

口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711 (通話料無料)

※特別口座に株式をお持ちの株主様が、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座への振り替えが必要となりますので、ご注意ください。



当社ホームページをご活用ください

<http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>

当社ホームページでは、プレスリリースや中期経営計画、決算情報等を掲載しております。

三菱ケミカルホールディングス

検索



携帯電話やスマートフォンなどから、QRコードを読み取ってアクセスすることもできます。